

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年11月26日

## 【認知症対応型共同生活介護用】

### 【評価実施概要】

事業所番号	2775502525
法人名	医療法人 幸晴会
事業所名	第二こうせい苑グループホーム
所在地	八尾市中田3丁目54-26 (電話) 072-925-7833

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 11月 11日

### 【情報提供票より】(平成 20年 10月 20日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 6月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	22人	常勤	12人, 非常勤 10人, 常勤換算15.5人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	1階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	22,000円	
敷金	有 (250,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400円			

#### (4) 利用者の概要 (平成 20年 10月 20日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	1名	要介護2	6名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	74歳	最高	96歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人厚生会 厚生会第一病院、たかはら歯科医院
---------	--------------------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームで、「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」を理念として定め、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員はチームワークと流れるような自然な動きで利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。利用者は医療連携体制をとっている母体法人のクリニックの医師と看護師により、必要な医療と看護を受けています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された入口の鍵の開錠についてはリスクが大きく、未だ答えが見出せていない状況ですが、もう少し時間をかけて議論をしていく予定です。理念にある利用者の個別ケアの実施については、食事や服薬の面で実践され効果を挙げています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員にも記入してもらい、ホーム長が意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は八尾市の担当職員、民生・児童委員や高齢クラブ会長などの地域住民、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や利用者の生活ぶり、ボランティアの受け入れ状況等について説明し、今後のホームと地域との交流の深め方についても話し合っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については必要の都度電話で家族に報告しています。フロア毎に季刊誌を発行し、利用者の暮らしぶりや行事について写真とともに報告しています。金銭管理については立替払いが大半で、毎月領収書をつけ家族へ送付しています。家族とは日常の面会時や家族交流会の時に、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置しています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については必要の都度電話で家族に報告しています。フロア毎に季刊誌を発行し、利用者の暮らしぶりや行事について写真とともに報告しています。金銭管理については立替払いが大半で、毎月領収書をつけ家族へ送付しています。家族とは日常の面会時や家族交流会の時に、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の人から庭でとれる果物や、手作りの豪華な菊の鉢植えをいただき、入口フロアやリビングに飾っています。利用者は近隣の喫茶店や商店、理容院等に出かけ地元の人と交わり、地域のボランティアの大正琴やハーモニカの演奏、日本舞踊等を楽しみ、保育園児の歌や遊戯の演技を楽しんでいます。運営推進会議のメンバーから地元の行事の情報を入手し、参加をしています。

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」を理念として定め、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し掲示しています。月例の全体会議やフロア会議、毎週のサービス担当者会議、日々の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の人から市民スポーツ祭の時に席を用意していただいたり、庭でとれる果物をいただいたり、入口のフロアやリビングには、いただいた手作りの豪華な菊の鉢植えを飾っています。利用者は近隣の喫茶店や商店、理容院等に出かけ地元の人と交わり、地域のボランティアの大正琴やハーモニカの演奏、日本舞踊等を楽しみ、保育園児の歌や遊戯の演技も楽しんでいます。運営推進会議のメンバーから地域行事の情報を入手し、参加をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された入口の鍵の開錠についてはリスクが大きく、未だ答えが見出せていない状況ですが、もう少し時間をかけて議論をしていく予定です。理念にある利用者の個別ケアの実施については、食事や服薬の面で実践され効果を挙げています。自己評価は、職員にも記入してもらい、ホーム長を中心に意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は八尾市の担当職員、民生・児童委員や高齢クラブ会長などの地域住民、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や利用者の生活ぶり、ボランティアの受け入れ状況等について説明し、ホームが地域交流するための情報をもらい、小学校で実施される市の消防訓練への参加もしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム長は八尾市の担当職員と相談や、市が開催する講演会や事業者連絡協議会グループホーム分科会に参加して意見交換を行ったりするなど、サービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については必要の都度電話で家族に報告しています。フロア毎に季刊誌を発行し、利用者の暮らしぶりや行事について写真とともに報告しています。金銭管理については立替払いが大半で、毎月領収書をつけて家族へ送付し、送付記録を残しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは、日常の面会時や家族交流会の時に、思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この一年間多くの職員が退職しましたが、残った職員の頑張りや新人職員の採用と教育で利用者への影響は最小限に抑えられ、利用者は落ち着いた生活ができています。しかし多くの職員が異動することで、馴染みの職員から支援を受けることができない利用者への影響を考え、今後とも異動を必要最小限に抑えるための更なる工夫が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の研修に対する取り組みは熱心で、資格取得支援研修もあり、職員数に占める資格取得者の割合が多くなっています。職員を認知症の実践者研修、八尾市や大阪認知症高齢者グループホーム協議会の外部研修に参加するとともに、内部研修も充実しています。新人職員の採用時研修もマニュアルに従い実施しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市の事業者連絡協議会グループホーム分科会に参加し、地域のグループホームと交流しています。また大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入し、研修会や他事業所との意見交換会に出席してサービスの質を向上させていく取り組みをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家庭を訪問したり、利用者と家族がホームへ見学に来ることもあります。体験入居を行うことで馴染みの関係作りや不安を取り除き、利用者や家族が安心して入居しサービスを受けられるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、水彩画や押し絵の得意な方、調理の得意な方等、家事や行事の機会を通して、利用者の得意な分野で学び支え合う関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の暮らし方や楽しみ方の希望を大阪認知症高齢者グループホーム協議会方式のアセスメント様式で把握しています。居室で日記を書く方や居室で朝夕仏壇を拝んでいる方、日曜日の礼拝に家族と出かける方、近隣の理容院へ出かける方等、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿えるよう利用者の生活を支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、家族の意向を反映させて、介護計画を作成しており、家族の同意も得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。計画作成担当者は支援経過記録や日常の職員との会話、毎週行うサービス担当者会議の結果をもとに1ヶ月毎にモニタリングを行い、介護計画の見直しにつなげています。今後はできれば各利用者の担当職員の意見を明確にすると共に、サービス担当者会議への家族の出席を検討されてはいかがでしょうか。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制をとっている母体法人のクリニックの医師と看護師により、必要な医療と看護を受けています。家族の依頼により、必要の都度通院介助も行っています。楽器演奏や踊り等の地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体法人クリニックの医師による往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前からの、かかりつけ医療機関から引き続き医療を受けています。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に看取りをした実績があります。入居時に、ホームで重度化した時や看取り実施時の指針を家族に説明し、話し合っています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行い、意向の確認を続けていく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。食事の開始時間や場所、希望の入浴時間の長さ等柔軟に対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食と夕食は食材業者が配達するシルバーメニューの食材を使い、利用者は下ごしらえ、調理、後片付けに至る一連の流れの大半にいきいきと参加しています。月に2～4回フロア毎に特別食の日を決め、利用者の希望を取り入れたお楽しみメニューで、買い物から調理に参加し食事を楽しんでいます。ベランダで収穫した野菜が食卓にのることもあります。職員は利用者と同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に3～4回ゆっくり寛いだ入浴ができています。希望で一時間もの長湯の方もいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中でそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。水彩画や押し絵、パッチワークの得意な方、料理に詳しく調理の得意な方、音楽を楽しむ方等、利用者一人ひとりが得意な役割や気晴らしをして楽しむことへの支援を行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝食やおやつの食材の買物や周辺地域への散歩、近隣の喫茶店や商店、理容院等に出かけ、初詣や季節の花見や遠足にも出かけています。利用者の介護度はあがってきたことで、全員での外出が難しくなることから、利用者一人ひとりの希望を聞きだし、個別外出の試みもされてはいかがでしょうか。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関前の道路が信号を避けるための迂回路になっており、交通量が多く事故も発生しているため、玄関のドアには鍵をかけています。	○	利用者や家族への心理的拘束感を軽減するためにも、日中の可能な時間帯だけでも見守りの強化を行うなど、安全面に配慮しながら、少しでも鍵をかけないようにする工夫が求められます。例えば道路と敷地の境界部分に門扉を取り付け、玄関のアプローチ部分にベンチや椅子を置くことで、利用者の拘束感を和らげることから始められてはいかがでしょうか。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、民間の防災会社の指導で通報訓練、消火訓練、避難訓練を行うとともに、市主催の地域の避難訓練にも参加しています。災害時の食料と水については独自のマニュアルを定めて備蓄をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者全員の一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、食材業者の管理栄養士のアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関外まわりには植木や季節の花、野菜、玄関内にも菊の鉢植えや観葉植物、絵画があり訪ねやすい雰囲気になっています。明るくて広くゆったりとしたリビング兼ダイニングルームには食卓テーブルのほか、ソファや椅子が置かれ寛げる場所になっています。リビングには大輪の菊の鉢植え、ちりめん細工の吊り籠、手作りの暖簾、絵手紙、季節感のある綺麗な押し花やパッチワークの手作り作品もあり、雑誌や新聞もさりげなく置かれ、家庭的で心が落ち着き、和める景観になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入口には利用者自筆の表札や暖簾がかかり、利用者がそれぞれ整理ダンス、衣装掛け、鏡台、机、テレビ、神棚、仏壇と遺影、マリア像、装飾品、家族の写真、趣味の手作り作品や小物等、使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		